

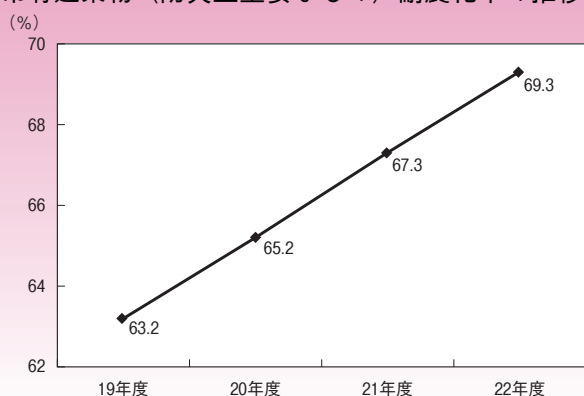
## 基本施策 4-④ 安心して活動できる空間づくり

### 現状

高齢者や障害者の社会参加などにより、移動の利便性や安全性の向上が求められています。このため、安全で安心な生活の確保とともに、積極的に社会参加ができるよう、公共施設をはじめ民間施設も含めて施設のバリアフリー化\*を推進する必要があります。

また、多くの市民が利用し、災害時には避難所や防災拠点となる市有建築物の30%以上が、築30年を超え老朽化が進んでいるため、建築物の耐震化及び長寿命化を図る必要があります。

市有建築物（防災上重要なもの）耐震化率の推移



バリアフリー施設（西那須野公民館）

### 課題

公共施設をはじめ民間施設も含めた施設のバリアフリー化推進

市有建築物の耐震化及び長寿命化

### 目指すべき方向

(1)バリアフリー化の推進

(2)市有建築物の安全性の向上

### 基本施策 目標指標

市民満足度

基準値（平成22年度）

48点



目標値（平成28年度）

53点

※市民満足度は、「満足している」100点、「やや満足している」75点、「どちらともいえない」50点、「やや不満である」25点、「不満である」0点とした時の全回答者の平均得点

### 個別計画……建築物耐震改修促進計画（平成20年度～平成27年度）

\*バリアフリー化：高齢者や障害のある人の生活の中で建築物の段差などの障壁（バリア）となっているものを取り除くこと。障害のある人や高齢者の社会参加を困難にしている社会や制度上の障害、心理的な障害をとりのぞくという意味でも使われている。

## 具体的な施策

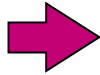
### (1)-1 施設のバリアフリー化

市民が安心して安全に利用できるよう、公共施設のバリアフリー化を推進するとともに、民間施設への普及を促進していきます。

**主要事業** ひとにやさしいまちづくり条例  
適合確認事務

**目標値** ひとにやさしいまちづくり条例  
適合確認件数

現状(平成22年度)



目標(平成28年度)

133件



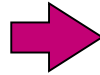
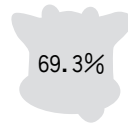
### (2)-1 市有建築物の耐震化及び長寿命化

市有建築物の耐震性を確保するとともに、予防保全的な維持管理により長寿命化を図ります。

**主要事業** (新)市有建築物耐震改修  
推進事業

**目標値** 市有建築物耐震化率

現状(平成22年度)



目標(平成28年度)

91.0%



自然と共生する  
まちづくり

快適で潤いのある  
まちづくり

健やかに安心して暮らせる  
まちづくり

安全で便利な  
まちづくり

活力を創出する  
まちづくり

豊かな心と文化を育む  
まちづくり

創意と協働による  
まちづくり